

新共謀罪を廃案へ!

2017年6月14日
No.475

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

6・11国鉄闘争全国集会 1600人の結集で打ち抜く!



斎藤いくま全学連委員長の集会アピール

デモで冒頭紹介されたように、京都大学全学自治会同学会の選挙の勝利を勝ち取りました。キャンパス全体を沸き立たせて、その中で出てきた、直接全学連として活動はしていない学生も含めて、本当に多くの学生の経験と知恵、創意工夫と一体になりながら勝利した非常に重要な、着実な学生運動の前進を示すような勝利だったと思っています。このような闘いを全面的に発展させて、ゼネラルストライキの一角、全国大学での反戦ストライキ。この実現に向かって全学連は突き進んでいきたいと思っています。



本日は、共謀罪情勢ということと一体で、私たち全学連の

大先輩である大坂正明さん、彼に対して46年間にわたる殺人罪のデッチあげによる指名手配のキャンペーンが今もおこなわれているわけですが、これをフレームアップすることによって、共謀罪を推し進めようという大弾圧がおこなわれていることについて、ぜひ多くの皆さんに、大坂正明さんと特定したらしいこのAさん。彼の奪還のために支持と連帯を訴えたいと思います。

まず、今おこなわれていることは、本当にメチャクチャなデッチあげの弾圧だということです。Aさんが、最初に逮捕されたのは公務執行妨害だというふうに言われているわけです。この間この事をめぐっていろいろなテレビ、取材がきているわけですが、あるテレビがこういう報道をしました。Aさんを直接逮捕した公安警察がインタビューをうけたらしくて、どうも逮捕する時に似ているということで、でも確証はないから逮捕するのは賭けだったと言っているわけですね。公務執行妨害ではないわけですね。ただの拉致なわけです。その後、DNA鑑定して特定したんだというわけで殺人罪で再逮

捕されたと言われているわけですがけれども、公務執行妨害は？という。殺人罪で再逮捕しているということは、不起訴でそっちの方は釈放されているということですよ。つまり、完全な拉致なわけです。デッチあげの弾圧がおこなわれている。しかも、このDNA鑑定というと何か科学的な根拠のように聞こえますけれども、みなさん、新聞記事等々などで読まれていると思うんですけれども、DNA鑑定というと普通、現場に残っている髪の毛などと照合したとか、そういう形でおこなうわけですがけれども、今回特定の方法はなんと大坂正明さんの親のDNAと照合して、矛盾はないから特定したと言っているわけですよ。矛盾はないと正解はまったく別の話ですよ。

つまり、完全にこの問題をフレームアップすることによって、共謀罪を強行するための弾圧がおこなわれているんだろうと思います。私たちは改めて、相手の側がそういう弾圧をかけてきた意図がどこにあるのかという事を考えた時に、ようは大坂正明さんの殺人罪のデッチの元になったあの渋谷暴動闘争、こういう闘いが組織的犯罪なんだというふうにしたいんだと、国家権力の意思がそこにあるんだろうと思います。あの2年前の安保国会決戦、戦争法をめぐる闘いで、本当に多くの人が集まって、あの時多くの人たちが、その瞬間、指導部たちが国会に突入しようということをやったら歴史は変わっていたはずですよ。そういう行動が組織的犯罪なんだと、デモはテロなんだと、そういうふうにするがために、こういうことがおこなわれているんだろうと私は考えています。そもそも大坂正明さんへの殺人罪、これは先程から述べているようにまさしくデッチあげです。

本日この場で集まってくれた方たちは、星野文昭さんの事を知っている方が多いと思います。本当に、日本の戦後史上最大のデッチあげ弾圧が星野文昭さんにかけてられています。彼は1971年の渋谷暴動闘争の時のデモ隊の責任者で、警官隊の死亡の時も殺したんだと、指示を出したんだということにされて、今も40年以上無実を訴えながら、徳島刑務所に収監されているわけですがけれども、彼に対する有罪の根拠はなんと物的証拠が一個もないんです。唯一の証拠とされているのは、当時、未成年だった少年たちを大量に逮捕して、6名逮捕して1日20時間とか取り調べを拷問的におこなって、その中で取ったとされた調書、しかも裁判の最中にこの調書は、そういう方法で取られて、自分の本心ではないと言って、6人中1人が証言拒否、6人中5人がこの調書は自分の供述とは違うと言って、この供述をひっくり返しています。だけど調書があるんだとあって、星野文昭さんは殺人罪で、いま無期懲役刑で徳島刑務所にいるわけです。大坂正明さんは星野文昭さんが指示を出した人間で、その実行犯の一人だと言われているんです。みなさん、こういう形での弾圧がなぜ星野さんと大坂さんに集中したのかと言えば、この渋谷暴動闘争という闘いが、本当に歴史的な闘いだったからです。一定いろんな新聞報道でも出されている通り、この渋谷暴動闘争は、まさしく沖縄の基地を残したまま日本に復帰させる。こういうことで「日本に復帰すれば、憲法9条の下で米軍基地がなくなるんじゃないか」という多くの沖縄県民の思いを逆手にとった形で日本に復帰しながら、だけど米軍基地はそのまま。

こういうペテン的な復帰に対して、反対して沖縄の人たちの思いに連帯して闘いを訴えた。これが渋谷暴動闘争でした。米軍の占領下で本当に多くの理不尽な事がおこなわれ、米軍の飛行機が小学校に墜落して、何十人という子どもたちが死んで、だけど米兵は一人も逮捕されない。そういう状況のもとで、ベトナム戦争がおこなわれ、沖縄からベトナムの人々を殺すために米軍基地から兵士が飛び立っていく。こうした本当にふざけた現実。当時、沖縄の労働者の8割が基地の労働者だった中で、声をあげればブラックリストがでまわって、雇用なんかされなくなる。こういう中で自殺する。そういう労働者が出てくる中で本当に怒りが爆発して、沖縄では全島ぐるみでのゼネラルストライキが爆発して、1971年の10月10日には、このゼネラルストライキの中で、ここでも実は警官が殺されています。その4日後、この渋谷暴動闘争が本土で、その闘いに連帯して闘われたわけです。マスコミは必死になってその中村巡査が交番にいて火炎瓶が投げられました、死にましたというイメージを作っているようですよけれども、当時の映像を見ればわかる通り、当時機動隊は、デモ隊に向かってガス銃を水平撃ちしていたわけです。みなさん、エアガンの改造は違法ですよ。殺傷力あげたら違法なわけですよ。なぜなら人間を殺すことができるから。当時機動隊が持っていたガス銃というのはそれですよ。それをデモ隊に向かって撃ちまくっていたんですよ。その人間がデモ隊から反撃されること含めてそんなありうるの決まっているわけですよ。しかも主力の警備の部隊、機動隊の第四部隊は崩壊して、その後中村巡査だけが取り残されて、だけれども彼はひたすらこいつらは暴徒だから殺してもいいんだという命令を受けていたのかわかりませんが、そういう下でガス銃を撃ちまくっていたんだと思います。こういう中で起きたの事件が警官の死亡という事でした。私たちは改めて、だけれどもこの国家権力が私たちのすべて、労働者が生み出した富を私物に変えていく、そして労働者を徹底的に使いつぶし、学生に対してもそういう未来をおくれということをやっている、軍事研究まで始まっている。こういう時代の中で、まさしく渋谷暴動闘争のような闘いが、今こそ必要なんだと思います。共謀罪をひっくり返し、戦争に突き進むこの国を止めるために、今こそそういう闘いが必要な時に、まさしくこの歴史を否定して、ただの組織犯罪にするために、共謀罪と一体でこの弾圧が仕掛けられているんだろうと思います。ぜひすべての皆さんに、大坂さんの無実、大坂正明さんとされるAさんの奪還のために支持と連帯を訴えたいと思います。今、Aさんの勾留理由開示公判の日程が詰められています。是非、けっこう仕事とかあって忙しいと思いますが、ここに大結集を呼びかけたいと思います。肥えたブタと、肥えたブタを守るためだけの上品なハト、左翼もそして資本家も既存のふざけた潮流、腐敗した左派、共産党や社民党。こういった連中も資本家もなぎ倒して私たちの狼の如き意思で、この国を切り開いていきましょう。労働者のための社会を僕らの力で作りあげていきましょう。よろしくお願いします。ありがとうございました。